

2017/2018シーズンの 参考資料 2 - 3

抗インフルエンザ薬の処方患者の推計

(企業提出資料による)

	0～9歳の推定 処方患者数	10～19歳の推定 処方患者数	全推定 処方患者数	出典 (期間)
オセルタミビルリン酸 塩(タミフル)	約162万人 (約131万人)	約7.8万人 (約10万人)	約377万人 (約313万人)	JMDC Claims Data Base (株式 会社JMDC) (2017/08-2018/03)
ザナミビル水和物(リ レンザ)	約90万人 (約56万人)	約86万人 (約72万人)	約270万人 (約197万人)	JMIRI(株)医療情報総合研究 所のデータよりGSKが算出 (2017/10-2018/04)
ペラミビル水和物(ラ ピアクタ)	約3万人 (約2万人)	約4万人 (約3万人)	約32万人 (約27万人)	(株)JMDCの保険者データより、 塩野義製薬株式会社が算出 (2017/10-2018/03)
ラニナミビルオクタン 酸エステル水和物 (イナビル)	約60万人 (約39万人)	約156万人 (約138万人)	約612万人 (約475万人)	JMDC(株)日本医療データセン ターのデータより (2017/10-2018/03)
バロキサビル マル ボキシル(ゾフルー ザ) ※2018/03発売開始	約0.4万人 (一)	約0.7万人 (一)	約3.7万人 (一)	(株)JMDCの保険者データより、 塩野義製薬株式会社が算出 (2017/10-2018/03)

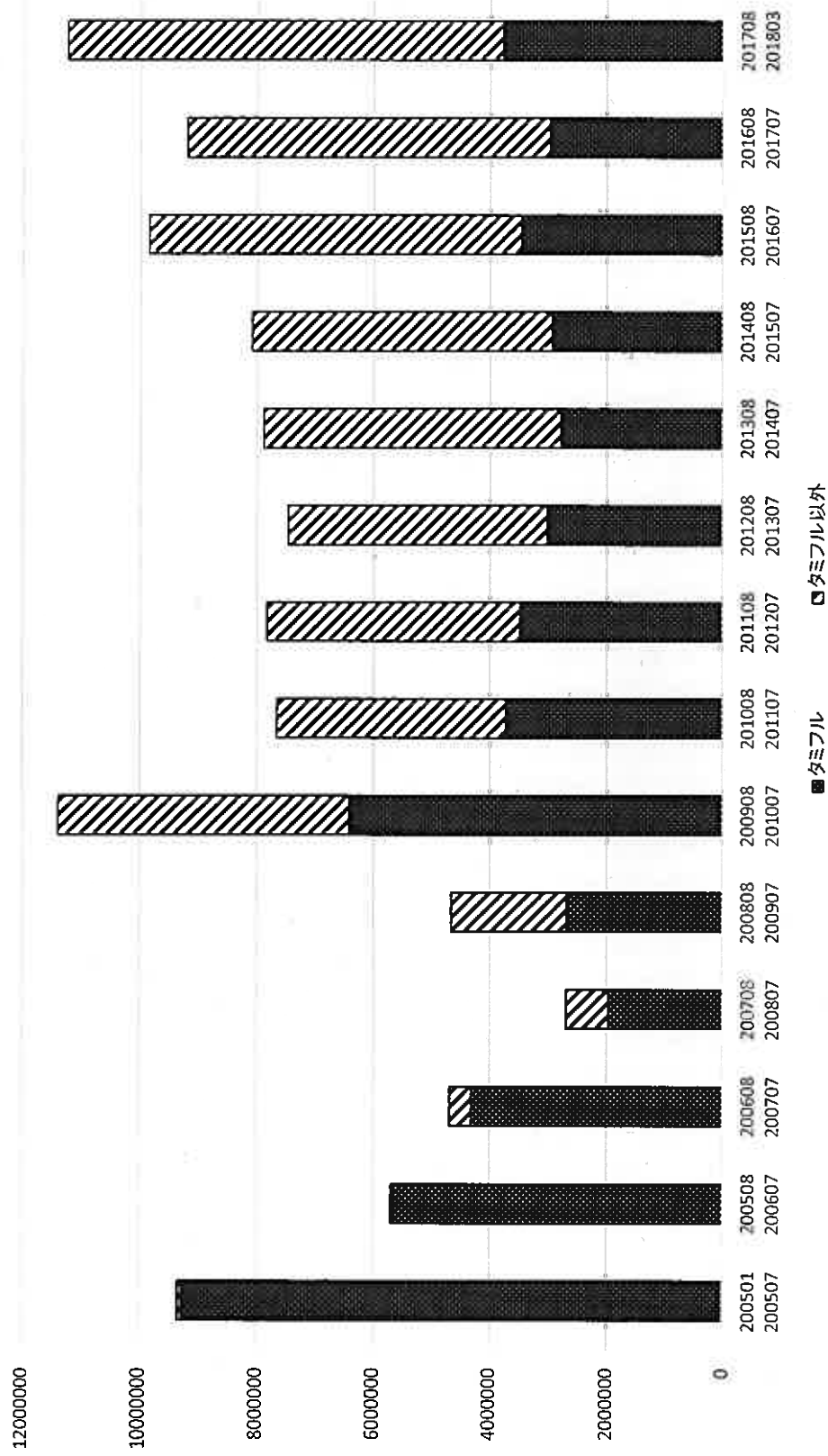
※括弧内は、2016/2017シーズンの推計

オセルタミビルリン酸塩 推定処方患者

企業： 中外製薬株式会社

全推定患者数比較

(人)

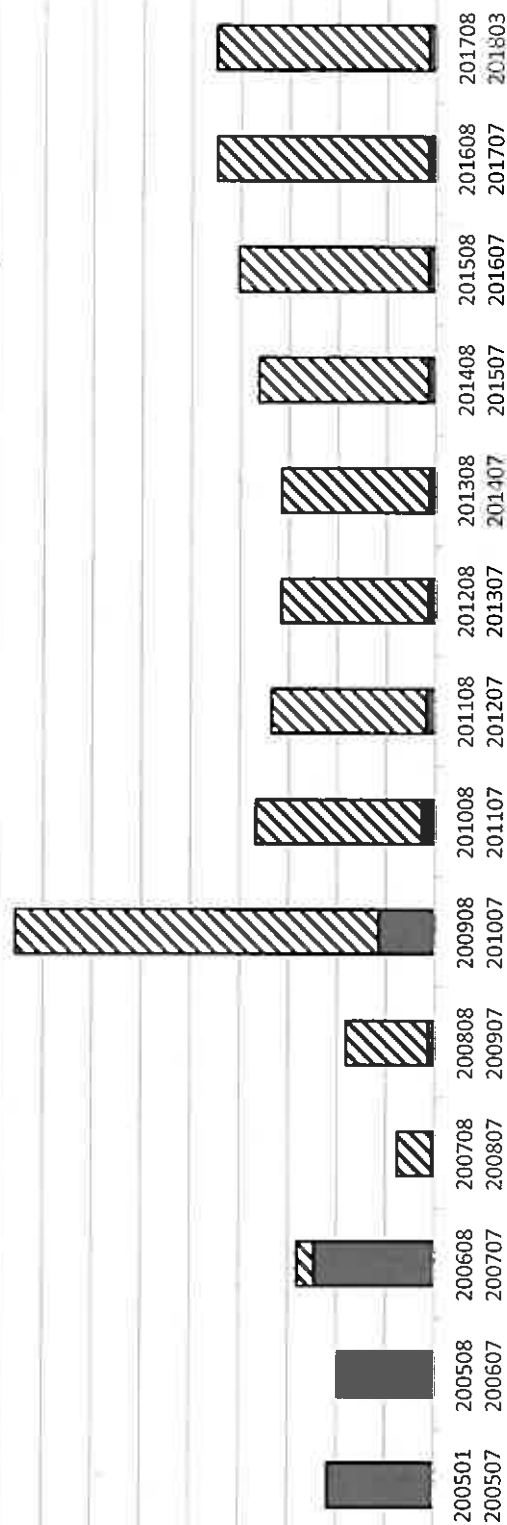


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳代推定患者数比較

(人)

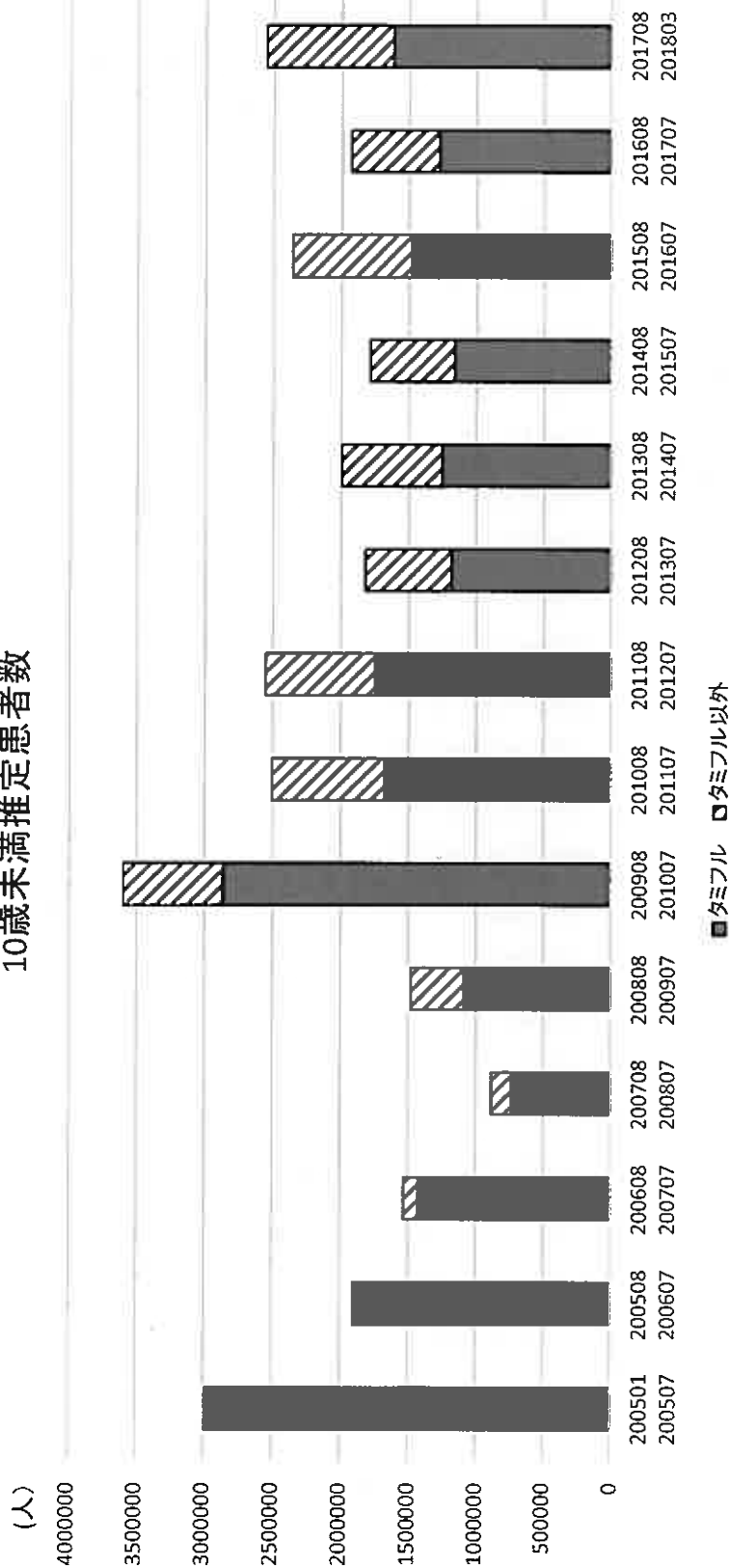
4500000
4000000
3500000
3000000
2500000
2000000
1500000
1000000
500000
0



■タミフル ■タミフル以外

株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳未満推定患者数



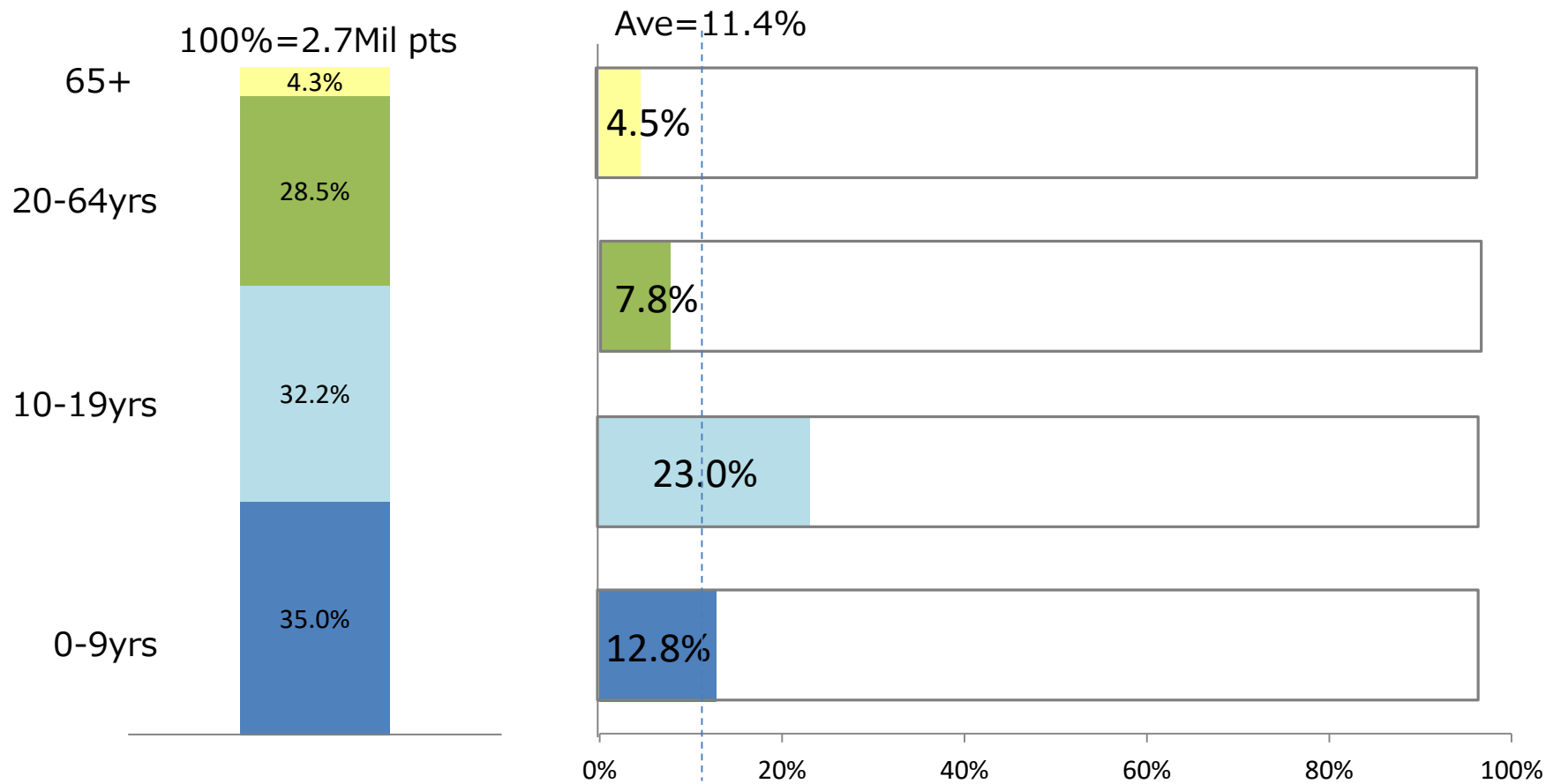
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

ザナミビル水和物 推定処方患者

企業： グラクソ・スミスクライン株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザ薬の処方状況とリレンザのシェア(推定)

2017-2018 Season
'17.10-'18.04



※「抗インフルエンザ薬」には、リレンザの他、タミフル(ドライシロップ、カプセル)、イナビルを含む

出典：JMIRI(株)医療情報総合研究所)のデータより、GSKが算出

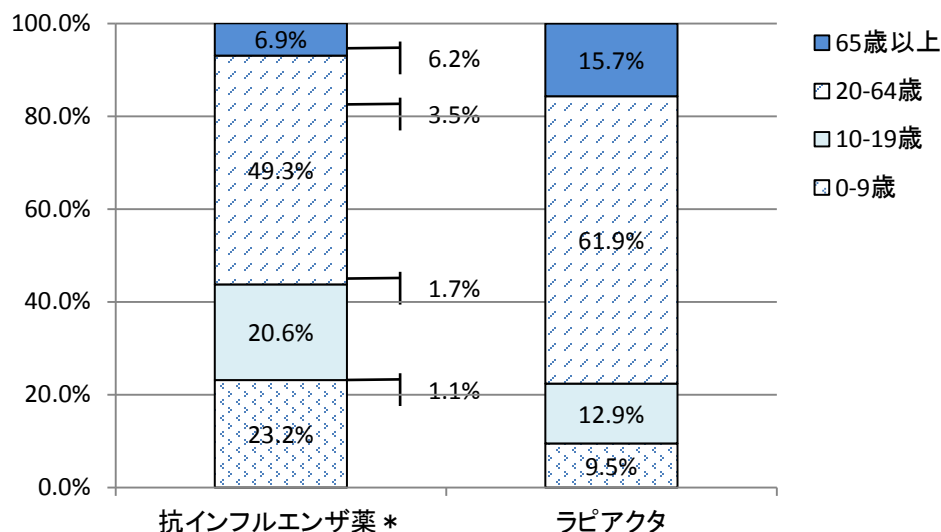
ペラミビル水和物 推定処方患者

企業： 塩野義製薬株式会社

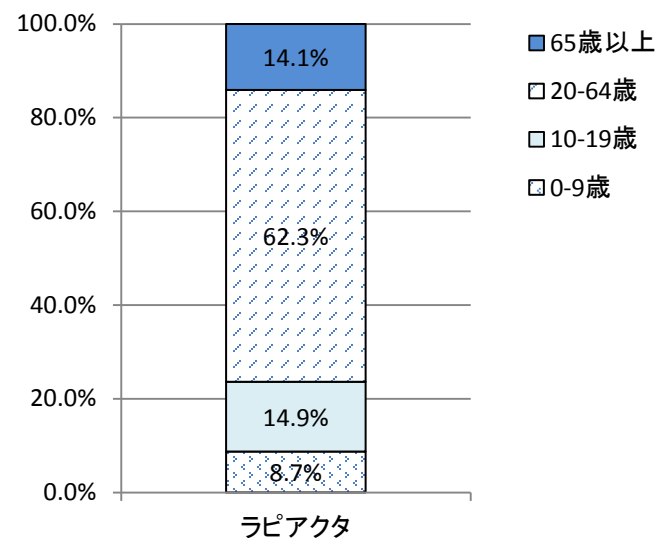
患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びラピアクタシェア(推定) <2017/18シーズン:2017年10月~2018年3月>

ラピアクタ
 処方比率
 全体:2.8%

推定処方患者数
 約32万人(うち0-9歳:約3万人, 10-19歳:約4万人)



(参考) 昨シーズン(2016年10月~2017年3月)
 ラピアクタ推定処方患者数・年代別比率
 推定処方患者数
 約27万人(うち0-9歳:約2万人, 10-19歳:約4万人)



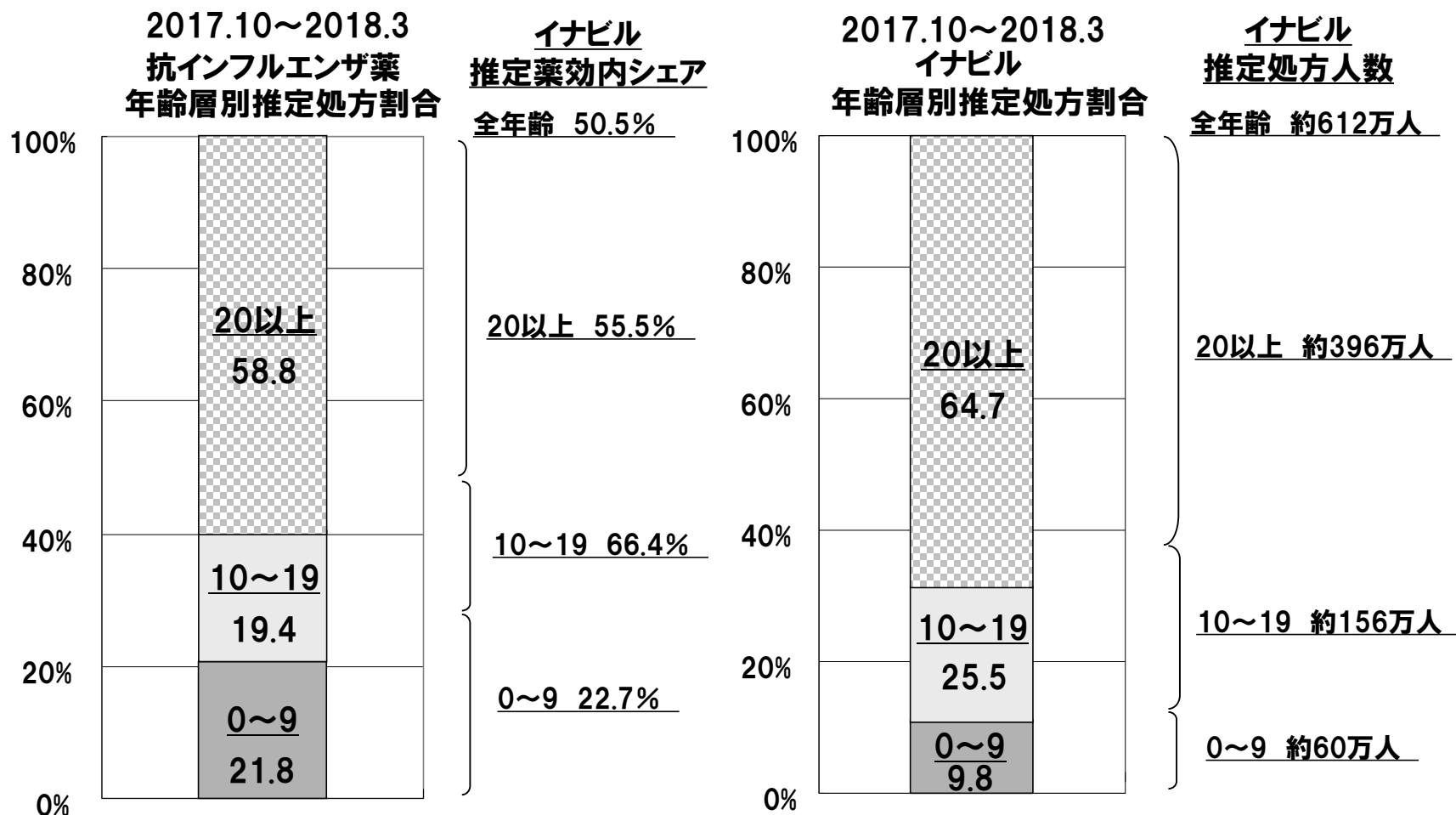
* 抗インフルエンザ薬:タミフル, リレンザ, イナビル, ラピアクタ, ソフルーザ(2018年3月より販売開始)

出典: (株)JMDCの保険者データより, 塩野義製薬株式会社が算出

ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 推定処方患者

企業： 第一三共株式会社

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア 【2017年10月～2018年3月の年齢層別】

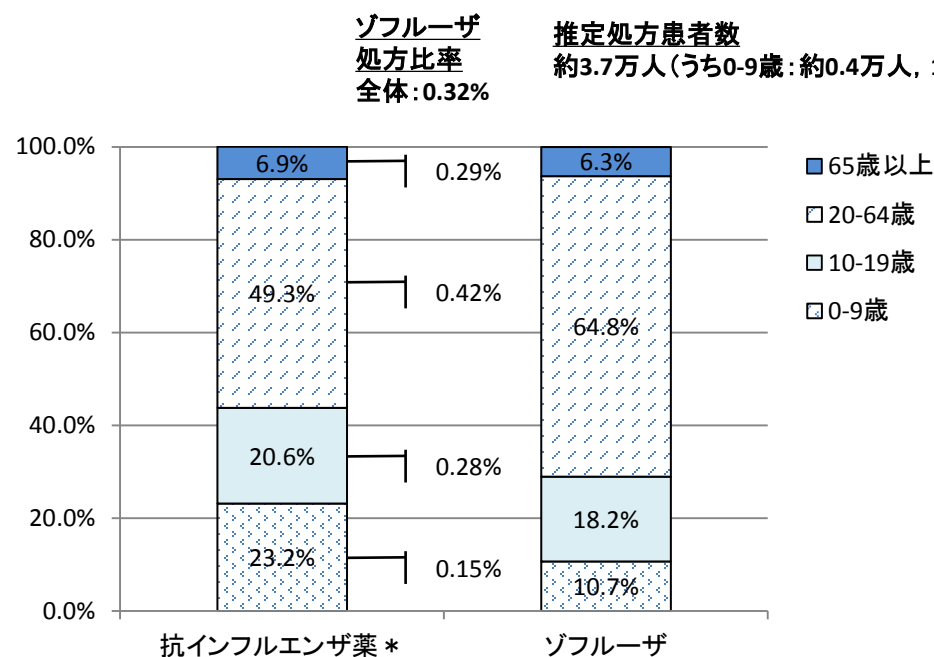


出典：JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、第一三共が推定

バロキサビル マルボキシル 推定処方患者

企業： 塩野義製薬株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びゾフルーザシェア(推定) <2017/18シーズン:2017年10月~2018年3月>



* 抗インフルエンザ薬:タミフル, リレンザ, イナビル, ラピアクタ, ゾフルーザ(2018年3月より販売開始)

出典: (株)JMDCの保険者データより, 塩野義製薬株式会社が算出